

環境経営

| 環境理念

私たちは「きれいな地球を次の世代へ」をスローガンに、環境管理システムを構築し、環境負荷低減をはじめとした具体的な計画をもとに、ノーリツグループ全体で環境保全活動に積極的に取り組んでいます。

～きれいな地球を次の世代へ～

| 重点課題

| 「エコ・ファーストの約束」を策定

ノーリツグループは、「企業の成長」と「環境推進」の両立を目指した「エコ・ファーストの約束」を策定しています。

エコ・ファースト制度とは、業界トップランナー企業の環境保全をさらに促進していくため、企業が環境大臣に対し自ら環境保全に関する取り組みを約束する制度であり、2008年4月に創設されました。

ノーリツグループは、2009年3月9日にガス石油機器業界で初めて「エコ・ファースト企業」に認定されました。

エコファースト推進協議会

エコ・ファースト推進協議会とは、エコ・ファーストの認定を受けている企業が、「エコ・ファーストの約束」の確実な実践と、先進性・独自性に富む環境保全活動を行うことを目的に2009年に設立した協議会であり、ノーリツも参加しています。

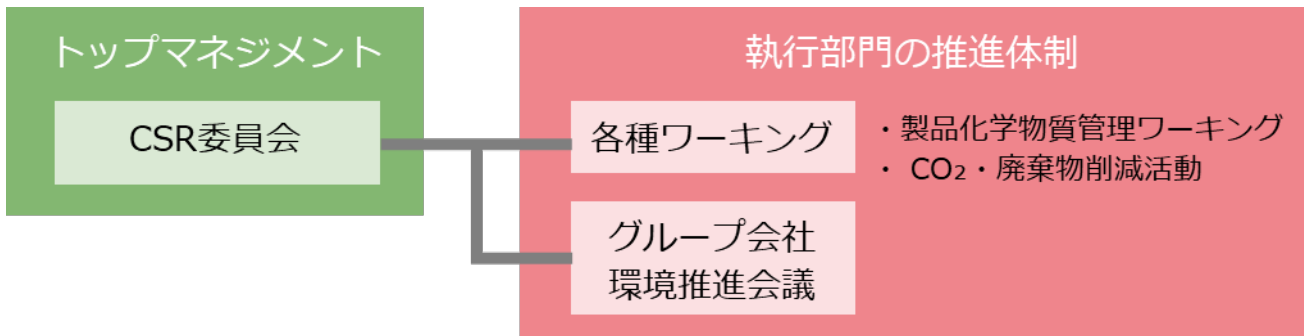


エコ・ファースト推進協議会

<http://www.eco1st.jp/company.html?id=28>

環境経営推進体制

ノーリツグループにおける環境保全活動の重要実施計画は、代表取締役社長が委員長を務める「CSR委員会」で審議・決定されます。ここで決定された「エコ・ファーストの約束」は、各執行部門の課題に落とし込まれ、活動の結果がフィードバックされる仕組みになっています。また、執行部門をまたがる個々の重要な課題に対しては、コーポレートコミュニケーション部が中心となり、グループ会社も含めた環境会議やワーキンググループを設けてPDCAサイクルを回しています。



環境マネジメントシステム(EMS)の構築

ノーリツグループの環境マネジメントシステムは「きれいな地球を次の世代へ」をスローガンに、ISO14001のしくみの中に環境大臣と交わした「エコ・ファーストの約束」を環境目標に掲げ、継続的な改善活動をおこなっています。

ノーリツグループの環境マネジメントシステムの認証取得状況

(2021年1月末時点)

ISO14001(ノーリツ)

生産事業所	
NAM事業所	1997年3月
加古川事業所	1999年6月
明石事業所	2000年3月

事務系	
ノーリツ本社	2015年3月
西新町事業所	2004年4月

ISO14001(グループ会社)

生産事業所(国内)	
信和工業(株)	2000年 3月
(株)アールビー神立工場	2001年 2月
(株)アールビーつくば工場	1999年 6月
(株)ハーマン	1999年 11月
(株)多田スミス	2002年 1月
大成工業(株)本社工場	2004年 2月
大成工業(株)播磨第二工場	1999年 11月
大成工業(株)播磨第三工場	2006年 12月
大成工業(株)稲美工場	2004年 2月
(株)エスコアハーツ	2010年 10月

生産事業所(海外)	
能率(中国)投資有限公司	2010年 3月
能率(上海)住宅設備有限公司	2010年 3月
東莞大新能率電子有限公司	2007年 3月
櫻花衛厨(中国)股份有限公司	2008年 6月
佛山市櫻順衛厨用品有限公司	2014年 5月

リスクマネジメント

環境汚染防止

ノーリツグループは、環境関連法規制および関連基準を遵守し、ISO14001に基づいた遵守評価を実施し、環境リスクの低減、環境汚染の予防・防止に努めています。

緊急事態への準備および対応

事業活動における法遵守、環境問題の発生防止、環境リスクの最小化を図るために、作業標準に基づき、設備点検および必要なメンテナンスを実施しています。また、万一の環境事故の発生を想定し、汚染を最小限に抑えるための事故対応手順を定め、緊急事態対応訓練を定期的に行っています。



緊急時に備えて設備点検と実地訓練

| 有機溶剤の管理

ノーリツグループでは 2015 年から毎年、有機溶剤の管理状況の確認をおこなっています。具体的には、労働安全衛生法における「特定化学物質障害予防規則および有機溶剤中毒予防規則」に基づく、現場での保管状況・排気・作業環境測定・教育・健康診断の実施などについて調査し、適切な管理が実施されていることを確認しています。さらにサプライヤーについても同様の調査を実施しています。